



地域教育文化学部
地域教育文化学科 教授

ふじのゆういち
藤野祐一

地域力の形成に向けた人間支援と地域支援の創造

山形大学地域教育文化学部

オペラを通じた人づくり

総合舞台芸術としてのオペラ

私の専門は声楽・オペラです。特にオペラを中心に研究していますが、大学の授業にも「オペラ」を取り入れて、学生の教育面で大きな成果を上げています。オペラというのは、歌いながら演技を行う総合舞台芸術です。一見難しそうですが、一度舞台に立つとその楽しさや面白さがわかるはず。衣装・メイクを行い、照明に照らされた舞台セットに立つとき、その素晴らしさが実感できます！

オペラとアウトリーチ

現在、音楽芸術コースには「アウトリーチ」と呼ばれる授業科目が2年次と3年次に置かれています。学生が地域の幼稚園、小学校、病院、老人介護施設などを訪問して、小さな演奏会を行

う内容です。いわば音楽の宅配便のようなイメージですね。合唱や器楽の演奏、そしてオペラなどの演奏形態、曲目について、学生が企画・運営から関わります。中でも「オペラ」はとても人気があり、市内の幼稚園や小学校へ毎年訪問しています。

人づくりとしてのオペラ

総合舞台芸術としてのオペラは教育プログラムとしても、優れた機能を有しています。毎年3月に公演している学生オペラの本公演は、1年以上の期間をかけて準備をしています。その中で、運営面、音楽面、演技面などの分担を決めて調整を行い、また協力していただく地域の方々との交渉などを通して、学生は人間的、音楽的に素晴らしい成長を遂げます。平成24年に開催された東京国際声楽コンクールで当時大学3年生の松浦恵さんが大学日本一に輝いた背景には、このような授業環境があったのです。



オペラ公演より「オルフェオとエウリディーチェ」-1 H25年3月



オペラ公演より「オルフェオとエウリディーチェ」-2 H25年3月



オペラ授業風景



東北中央病院コンサート H24年7月